

NEWS RELEASE

特別展「聖域の美 一中世寺社境内の風景」を開催します。
全国各地の趣き深い寺社の風景を描く絵画を一堂にそろえます。
時空を超えた寺社めぐりをお楽しみください。

近鉄グループの文化事業である大和文華館では、10月5日（土）から11月17日（日）まで、特別展「聖域の美 一中世寺社境内の風景」を開催いたします。

江戸時代の俳人松尾芭蕉は、みちのくの古寺を訪れ、「佳景寂寞として心澄みゆくのみおぼゆ」という言葉を残しています。神仏の坐す境内を歩いていると、しんと心が透きとおっていくようだという芭蕉の感懐は、寺社境内を訪れた際に私たちの胸を去来する思いと、なんら変わりません。

古来、人々の心のよりどころとして、美しく整えられ、護り伝えられてきた特別な場所が、寺社の境内です。本展では、高野山や園城寺といった大寺院をはじめ、丹波の出雲神社、近江の御上神社、そして会津磐梯山のふもとの慧日寺まで、日本各地の寺社境内を描く、鎌倉時代以降の絵画を一堂に集めます。日本の風景画の最上の作品をとおして、時空を超えた寺社巡りをお楽しみください。

詳細は別紙のとおりです。

展覧会みどころご案内

- | | |
|----------------|---|
| I 章 聖域の静謐と荘厳 | まずは、静かで厳かな鎌倉時代の寺社境内へ。天空の高みから見下ろしたような広大な風景は、見る者を絵のなかに引き込みます。（図1） |
| II 章 物語をはぐくむ場所 | つづいて、神仏と寺社をめぐる物語に溢れた境内へ。（図2） |
| III 章 境内の記憶と再興 | 荒廃からの復興を願って作られた絵図には、人々のあたたかい思いがにじみます。（図3） |
| IV 章 にぎわう境内 | 泰平の世を迎えれば人々はピクニック気分です。狩野永徳筆「洛外名所遊楽図屏風」など、華麗な遊楽図屏風をそろえました。 |

図1 高野山水屏風（左隻・京都国立博物館蔵）



図2 伊勢曼荼羅図（部分・正暦寺蔵）



図3 慧日寺絵図（部分・恵日寺蔵）



別紙

【1】「聖域の美」展について

1. 名称 「聖域の美 — 中世寺社境内の風景 —」
主催・公益財団法人 大和文華館 共催・読売新聞社 助成・芸術文化振興基金
2. 会期 2019年10月5日(土)～11月17日(日)
休館日 毎週月曜日 (ただし、10月14日<月・祝>、11月4日<月・振替休日>は開館し、10月15日<火>、11月5日<火>が休館) ※会期中展示替えあり
3. 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)
4. 入館料 一般 950円 高校・大学生 730円 小学・中学生 無料
5. 出陳作品 34件

I 章 聖域の静謐と荘厳

- 重要文化財 笠置曼荼羅 大和文華館蔵 鎌倉時代
- 重要文化財 高野山水屏風 京都国立博物館 鎌倉～南北朝時代
- 重要文化財 園城寺境内古図 園城寺蔵 鎌倉～南北朝時代 前期展示

II 章 物語をはぐくむ場所

- 重要文化財 玉垂宮縁起 玉垂宮蔵 南北朝時代 前期展示
- 伊勢曼荼羅 正暦寺蔵 南北朝時代

III 章 境内の記憶と再興

- 慧日寺絵図 恵日寺蔵 室町時代
- 松尾神社絵図 松尾大社蔵 室町時代
- 報恩律寺七堂図 報恩寺蔵 室町時代

IV 章 にぎわう境内

- 洛外名所遊楽図屏風 狩野永徳筆 個人蔵 片隻ずつ展示
- 重要文化財 吉野花見図屏風 細見美術館蔵
- 浅草寺境内図屏風 越葵文庫 福井市立郷土歴史博物館保管

【2】会期中のイベントについて

- (1) 講演会 「聖地の絵画化と権力 ——春日、山王、竹生島」
日時・場所 10月20日(日)午後2時から大和文華館講堂にて
講師 成城大学教授 相澤正彦氏
講演会 「風景画として見る境内図 ——歩く眼、佇む眼」
日時・場所 11月10日(日)午後2時から大和文華館講堂にて
講師 国立国際美術館館長 山梨俊夫氏
- (2) 日曜美術講座 「中世寺社境内の風景」
日時・場所 10月13日(日)午後2時から大和文華館講堂にて
講師 大和文華館学芸部長 泉万里
- (3) 華コンサート 「秋風にそよぐコスモス」
日時・場所 10月26日(土)午後1時から1時40分まで大和文華館講堂
当日午前10時から受付棟にて配付する整理券が必要です。
演奏者 中野振一郎(チェンバロ)

(4) 帝塚山高等学校茶道部による呈茶

日時・場所 11月9日(土)午後1時30分から3時30分
大和文華館本館ロビー

(5) 大和文華館学芸部による列品解説

日時・場所 毎週土曜日 午後2時から・大和文華館展示場

※何れのイベントも参加は無料ですが、入館料が必要です。

以 上